

株式会社永川組大黒町本社工場中間処理プロジェクト  
環境影響評価方法書に係る答申

平成16年12月6日

横浜市環境影響評価審査会

平成16年12月6日

横浜市長 中田 宏 様

横浜市環境影響評価審査会  
会 長 猪 狩 庸 祐

株式会社永川組大黒町本社工場中間処理プロジェクト環境影響評価方法書  
に関する調査審議について（答申）

平成16年10月8日環保環審第151号により諮問のありました標記について、当審査会は慎重に調査審議を重ねた結果、次のとおり結論を得たので答申します。

なお、本件に係る方法意見書の作成にあたっては、当審査会で指摘した事項について十分に配慮されるよう申し添えます。

## 1 全般的事項

### (1) 対象事業の内容

#### ア 対象事業の名称

株式会社永川組大黒町本社工場中間処理プロジェクト（以下「本事業」という。）

#### イ 対象事業の種類

廃棄物処理施設の建設（横浜市環境影響評価条例に規定する第1分類事業）

#### ウ 事業者の名称

株式会社永川組

#### エ 対象事業の実施区域

鶴見区大黒町4番地の1（以下「計画地」という。）

#### オ 対象事業の目的

本事業は、現在、産業廃棄物の積替え保管施設として使用されている建物に産業廃棄物の中間処理施設（リサイクル処理施設）を設置し、主に建設現場から発生する廃棄物を多段階選別機器類で分別し、リサイクル製品とすることにより、環境負荷を低減しようとするものである。

#### カ 対象事業の概要

計画地の敷地面積は、14,749.36㎡である。

今回、産業廃棄物の中間処理施設が設置される建物は、工場A棟（建築面積：7,656.52㎡）と工場B棟（建築面積：906.75㎡）である。工場A棟は、主に建設系混合廃棄物処理施設、廃プラスチック類圧縮処理施設など、工場B棟は、木くず破砕処理施設を設置する計画である。

## (2) 地域の特性

計画地周辺は、都市計画法に基づく用途地域が工業専用地域に指定されており、主に工場や倉庫等の土地利用がされている。また、臨港地区（工業港区）に指定されている。

計画地は、西側を大黒運河に面し、南側に神奈川産業道路が、北側及び東側に他事業所が存在している。

事業の実施にあたっては、事業内容及び地域特性を考慮し、方法書に記載された事項に加え、以下に示す事項に留意して環境影響評価を実施する必要がある。

## 2 個別的事項

### (1) 環境影響評価項目

#### ア 供用時

##### (ア) 大気汚染

- a 建設混合廃棄物の選別や破砕に伴う粉じんの発生状況について、類似施設において測定を行い、当該施設における発生状況を粒径ごとに予測を行うこと。
- b 集じん装置の除去効率について、粒径ごとの性能諸元を準備書に記載すること。
- c 当該施設外に排出される粉じんについて、建物によるダウンドラフトの影響を十分考慮し適切なモデル式を用いて予測を行うこと。

##### (イ) 水質汚濁

搬出入車両の洗車に伴う排水処理について、既存施設において十分処理できることを確認するとともに油水分離槽の構造・性能を準備書に記載すること。

##### (ウ) 騒音

施設の稼働に伴う室内騒音について、適切な吸音対策を検討し、予測・評価すること。

##### (エ) 廃棄物・発生土

建設系混合廃棄物について、搬入時の確認方法及び有害物質の混入が確認された場合の対応を準備書に記載すること。

##### (オ) 地域社会

搬出入車両の配車管理システムによる環境への効果について、準備書に記載すること。

##### (カ) 安全

既存建物の用途変更に伴う消火設備等の整備について準備書に記載すること。

( 2 ) 環境影響配慮項目

ア 供用時

(ア) 温室効果物質

搬出入車両の走行に伴う二酸化炭素の排出削減について、搬出入車両の配車管理システムによる効果を準備書に記載すること。

横浜市環境影響評価条例に基づく手続経過

平成16年9月21日 事業者は方法書を提出

平成16年9月28日 事業者は方法書周知計画書を提出

平成16年10月5日 市長は方法書の提出を受けた旨市報公告し、方法書の写しの縦覧を開始（11月18日まで）

縦覧場所 環境保全局、鶴見区役所、神奈川区役所

縦覧者数 5名

事業者は対象地域内に方法書の概要を周知（戸別配布）

市長は方法書に対する意見書受付を開始（11月18日まで）

意見書数 0件

平成16年10月8日 環境影響評価審査会

横浜市長は調査審議について、審査会に諮問

事業者説明（方法書）及び審議

平成16年11月2日 環境影響評価審査会

事業者説明（補足資料）及び審議

平成16年11月22日 環境影響評価審査会

事業者説明（補足資料）及び審議

事務局説明（検討事項一覧）及び審議

平成16年12月6日 環境影響評価審査会

事務局説明（答申案）及び審議

審査会は調査審議について、市長あて答申

事業者が当審査会に提出した補足資料

埋立処分する残渣（さ）物について

金属くずの内容について

集じん機について

騒音発生機器について

切断処理の流れについて

消火栓の配置について

粉じんについて

バグフィルターに堆積した粉じんの払い落としの方法について

横浜市環境影響評価審査会委員

赤羽弘和	千葉工業大学
猪狩庸祐	猪狩庸祐法律事務所
今井五郎	横浜国立大学
小沢弘子	小沢弘子法律事務所
工藤信之	東京農工大学
猿田勝美	神奈川大学
田丸重彦	東海大学
田村美幸	公共の色彩を考える会
土井陸雄	横浜市立大学
野知啓子	関東学院大学
広谷浩子	神奈川県立生命の星・地球博物館
藤原一繪	横浜国立大学
横山長之	日本気象協会
会長	副会長 五十音順 敬称略